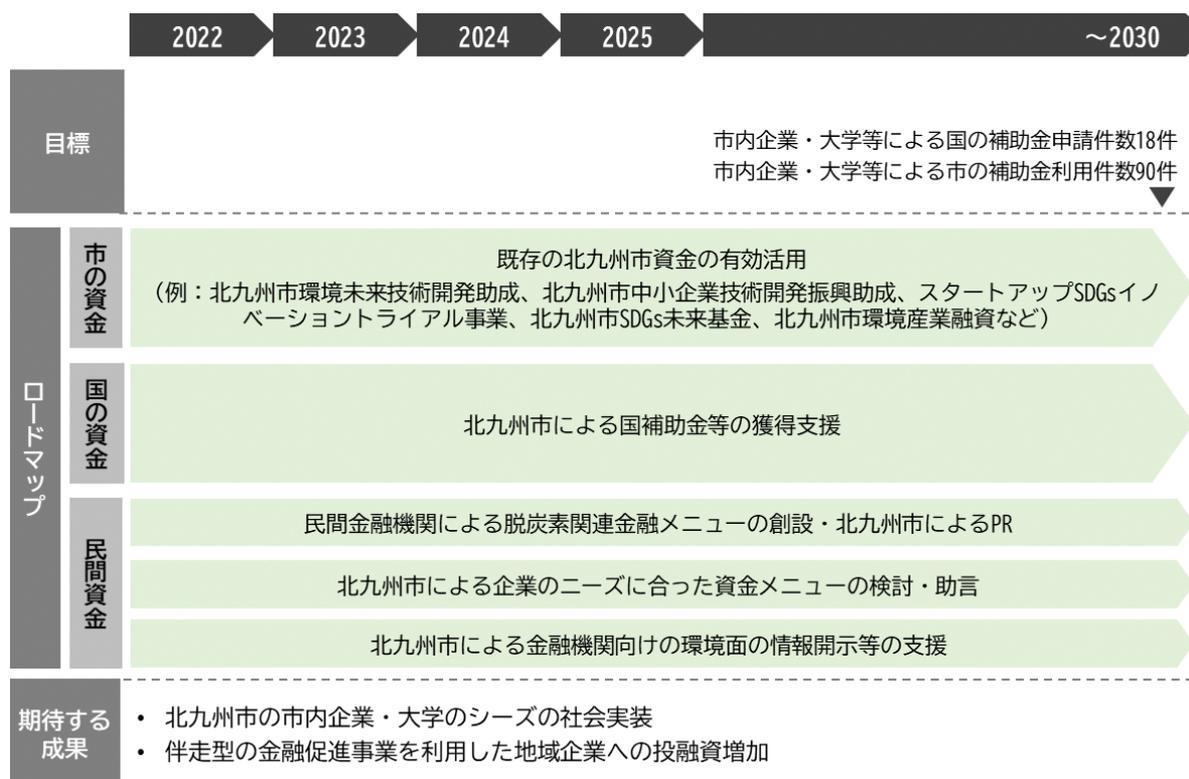


(iv) ロードマップ (2030 年度)



(v) 取組指標 (2030 年度)

項目	取組指標
市内企業・大学等による国の補助金申請件数	18 件以上 (累計) ※年間 2 件程度
市内企業・大学等による市の補助金利用件数	90 件以上 (累計) ※年間 10 件程度

③ 脱炭素社会を推進する人材育成・獲得プログラムの創設

脱炭素イノベーションを担う人材を育成し、市内企業がそうした人材を確保できるよう、脱炭素に係る企業人材や技術とビジネスの観点を併せ持つ人材の育成、脱炭素に関心・素養のある市内大学生と市内企業の接点強化等を支援します。

こうした取組を通じ、2030 年に向けて、脱炭素人材の獲得・育成に向けたプログラムを産学官連携でプログラムを順次開始していくことを目指します。

(i) 企業内の脱炭素人材育成・獲得支援 【市】【企業】【大学等】

a 企業と人材のマッチング支援（環境整備、研究開発・実証フェーズ）

市内企業における人材獲得の推進に向け、市内企業と人材をマッチングする既存のプラットフォームや、マッチング機能を備えたコワーキングスペースの活用を推進し、脱炭素人材と市内企業の接点創出を支援します。

このほかにも、主に首都圏に本社を持つ大企業に対しては、本社採用の条件により、本市で働き続けることが可能（配属先が本市）な採用制度の導入を働きかけます。これに伴い、地方での働き方を考慮し、企業と連携した採用についての制度づくりの検討も進めていきます。

また、市内企業で働く市内大学出身のOBを通じ、市内大学からの採用を促進する取組や、「北九州市 SDGs スタートアップエコシステムコンソーシアム」との連携を通じ、市内スタートアップと市内企業とを結びつける取組等も展開していきます。

併せて、風力発電分野における「脱炭素電力推進都市」に記載の人材育成戦略と連携したマッチング支援等を行います。

b 脱炭素人材育成（環境整備、研究開発・実証フェーズ）

脱炭素イノベーションを支える人材の育成を広く支援することで、企業の脱炭素化を後押しします。具体的には、企業が自社のCO2排出量算定を行うための人材育成プログラムや、企業経営者などを対象に脱炭素経営の取組を促進するセミナーなどの開催を実施します。

(ii) 技術とビジネスの観点を併せ持つ人材育成支援【脱炭素高度人材育成】

（研究開発・実証、社会実装フェーズ） 【市】【企業】【大学等】

脱炭素イノベーションの創出・実現に向けて、技術的な観点とともにビジネスの観点からも社会の将来の姿や方向性を考えられる主導的役割を担う高度人材の育成・獲得を、産学官連携で推進します。

具体的には、脱炭素関連領域における社会人マスター・ドクターの取得や、大学・企業間の共同研究を通じた学生と企業の接点強化や学位取得等を後押しします。これらの実施に際しては、「脱炭素関連事業創出に繋がるプラットフォームの整備」の産学官連携拠点との連携を図ります。また、大学・企業間の共同研究に対して、市やコーディネーターが内容の検討を支援します。

中長期的には、脱炭素分野におけるグローバル人材の育成を視野に、海外研究機関との連携にも取り組みます。

(iii) 大学と連携した脱炭素人材のすそ野の拡大(環境整備フェーズ) 【市】
【大学等】

すそ野の拡大による脱炭素関連人材の育成に向けて、脱炭素分野に関心・素養のある市内大学生に対し、市内企業への就職を意識づけるための支援を行います。本市では、北九州市立大学を対象に1年生の段階から市内企業でインターンを行う「未来地域産業インターンシップ」等を行っています。今後は、大学教員も参加するインターンシップ等の実施も視野に、脱炭素分野に関心を持つ市内大学生と市内企業を結び付ける取組を拡充していきます。

(iv) ロードマップ(2030年度)



(v) 取組指標(2030年度)

項目	取組指標
市が主催・共催する人材育成・獲得プログラムへの参加人数	900人(累計) ※年間100人程度